

ゆし! のひろば



宮古島市教育委員会
広報誌

第21号

2015/12/1発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

特集 第11回生涯学習フェスティバル・第10回宮古島市民総合文化祭 学力調査の結果について



CONTENTS



- 第10回宮古島市民総合文化祭
第11回生涯学習フェスティバル
- Topics
 - 子ども博物館「石蒸し調理」
体育の日関連イベント
- わだいの広場
「音楽祭」



パニパニスクール



- 狩俣中学校「2年連続でグランプリ受賞」
福嶺中学校「沖縄県中学校陸上競技大会2冠達成」
平良第一小学校児童「沖縄県卓球大会優勝報告」



連載

文化財を巡る



宮古上布の創生者「稲石」

宮古島市市制施行10周年記念事業

第10回宮古島市民総合文化祭

～創造する市民の文化～

「児童・生徒の部」 作品展示会

児童・生徒による文化芸術の発表の機会を設けることにより、次世代の文化の担い手を育み、新しい文化の創造や先人達から培ってきた地域文化の継承・発展に寄与するとともに、宮古島市の文化を広く発信することを目的に、第10回宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」展示会が10月24日(土)・25日(日)の二日間にわたって開催されました。

会場では学生とは思えないクオリティの高さに驚く人々や、お孫さんの力作に感涙するおじいちゃん、おばあちゃんが見られ、作品の持つ人々の気持ちを動かす力を実感できる素晴らしい展示会となりました。

児童・生徒の作品の一部を紹介します。

出品総数 3,479点

書道 524点 作文 106点

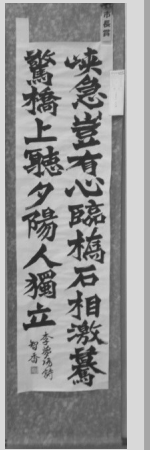
美術 309点 詩 173点

俳句 1,310点 短歌 531点

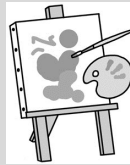
自由研究・工作 526点

来場者数 1,171名

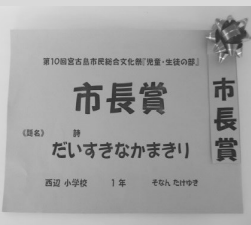
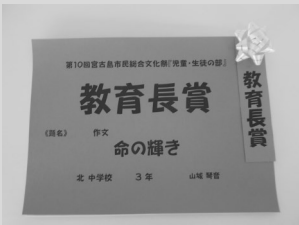
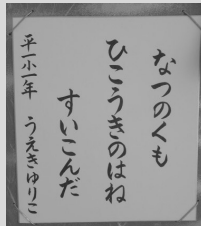
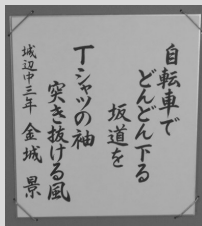
書道部門



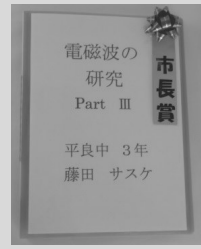
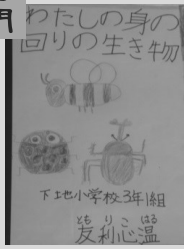
美術部門



文芸部門



自由研究 工作部門



会場内の様子

2日間で、1,171名の方に足を運んでいただきました！



第11回生涯学習フェスティバル

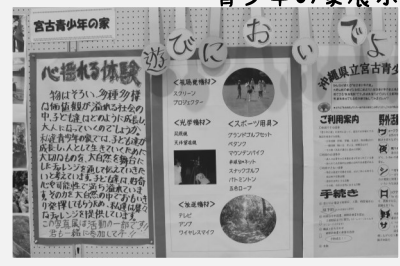
「さがしてみよう 笑顔になれる 学びの場」

第11回宮古島市生涯学習フェスティバルが11月14日、15日の2日間にわたり、「さがしてみよう 笑顔になれる 学びの場」をテーマに宮古島市中央公民館で行われました。

14日(土)

公民館サークルや社会教育関係団体等の活動の様子をパネルで紹介し、それぞれの団体の創作品を展示しました。また花作り講座も行われ、各団体の学習の成果を様々な形で表現しました。

青少年の家展示



市子連展示



公民館作品展示



15日(日)

開会式、3名の方が表彰された社会教育功労者表彰式に始まり、軽スポーツ・セグウェイ体験・ものづくり体験など約15団体による多彩な催しが展開され、大勢の市民で賑わいをみせました。

その中でも、はたおりコースター作りや、無有工房ぬいぐるみ作りなどの工作体験コーナーは親子連れを中心に人気がありました。また野外ステージでは高校生や一般参加バンドの方々が会場の内外を盛り上げてくれました。



セグウェイ体験



はたおりコースター作り



ぽんぽん動物づくり

午後からの舞台発表では、大ホールが満席になるほどの盛り上がりを見せ、23組の団体が舞踊や演技、歌や楽器演奏など、公民館サークル活動での練習の成果を披露しました。

今年度は2日間で約700名の方が会場を訪れました。ご来場して頂いた皆様、ご参加ありがとうございました。

佐良浜三線同好会



上野三線クラブ



日本3B体操協会



みやこギターアンサンブル



SA宮古島



三線サークル蔵



保良子ども会



ハワイアンフラサークル



下地子ども会



全国学力・学習状況調査



特集

平成27年度

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立て、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査実施日と調査内容

【実施日】平成27年4月21日(火)

【調査内容】教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題

国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題

理科：主として「知識」に関する問題とし「活用」に関する問題を一体的に出題

調査対象となる児童・生徒数

小学校では小学6年生のみ。沖縄県全体では15,173名(うち宮古島市 501名)

中学校では中学3年生のみ。沖縄県全体では14,684名(うち宮古島市 564名)

沖縄県内の参加状況

【参加学校数】公立小学校267校(うち宮古島市 19校)

公立中学校150校(うち宮古島市 15校)

全体の結果

小学校 全教科で全国及び県平均を下回る結果となったが、算数Aでは昨年同様全国水準となっている。

理科では前回調査より全国との差が縮まっているものの差が大きく課題である。

無回答率では、全教科において全国に比べ昨年度よりも改善されており、粘り強く問題を解くなど学習意欲の高まりがうかがえる。

中学校 全教科で全国平均を下回る結果となったが、国語A以外は昨年度に比べ全国との差を縮めている。

また、数学AB、理科では県平均を上回る結果となり、国語への対応が今後の課題である。

無回答率では、国語B以外では昨年度よりも改善されており、小学校同様粘り強く問題を解くなど学習意欲の高まりがうかがえる。

教科ごとの結果と概要

区分	平均正答率(%)				小学校
	宮古島市	沖縄県	全国	全国との差	
国語A	66.9	69.3	70.0	-3.1	
国語B	63.3	67.3	65.4	-2.1	
算数A	74.9	77.7	75.2	-0.3	
算数B	40.4	44.7	45.0	-4.6	
理科	54.8	59.0	60.8	-6.0	
平均	60.1	63.6	63.3	-3.2	

【国語の結果】

国語A・Bともに全国および県平均を下回る結果となった。Bにおいては昨年度より平均正答率は上回ったが全国と比べ-2.1Pの開きがある。

【算数の結果】

算数A・Bともに全国及び県平均を下回る結果となった。しかし、Aにおいては全国に比べ-0.3Pとほぼ全国水準になっている。Bは全国及び県との差が4P以上もあり、活用問題への対応が必要である。

【理科の結果】

平成24年度に実施された理科の抽出調査結果と比較すると、前回調査に比べ改善してきたが、全国との差が-6Pもあり対応が必要である。

区分	平均正答率(%)				中学校
	宮古島市	沖縄県	全国	全国との差	
国語A	69.9	70.0	75.4	-5.9	
国語B	59.4	61.3	65.8	-6.4	
数学A	57.2	55.8	64.4	-7.2	
数学B	34.6	34.0	41.6	-7.0	
理科	46.4	45.9	53.0	-6.6	
平均	53.5	53.4	60.1	-6.6	

【国語の結果】

国語A・Bともに全国および県平均を下回る結果となった。Aにおいては全国と比べ-5.9Pの開きがあるが、県と比べると-0.1Pと県水準になった。Bでは全国と比べ-6.4Pと昨年より差が縮まった。

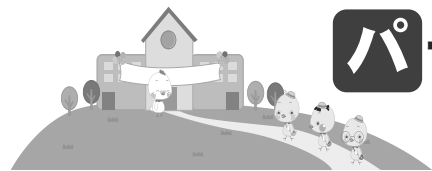
【数学の結果】

数学A・Bともに全国平均には及ばなかったものの県平均を上回る結果となった。Aにおいては昨年より全国との差を縮め、県平均よりも+1.4P上回った。Bにおいては全国と比べ-7.0Pと昨年よりも1.8P改善された。また、県平均を+0.6Pも上回っている。

【理科の結果】

平成24年度に実施された理科の抽出調査結果と比較すると、全国平均との差が-6.6Pと縮まり改善傾向にある。また、県に比べ+0.5P上回る結果となった。

全国学力調査の結果について



パニパニ☆スクール

市内小中学校で児童・生徒が元気に取り組んでいる様々なユニークな活動や取り組みを紹介するコーナーです。今回は狩俣中学校、福嶺中学校、平良第一小学校です。

狩俣中学校「2年連続でグランプリを受賞！（ダンスフェスティバル）」

去った10月10日(土)に行われた第13回全宮古中学校ダンスフェスティバル(主催:宮古地区中学校体育研究会)において、リズムダンスパート1部門(運動会等で実演したダンス)で2年連続のグランプリを受賞した。

毎年、9月に行われる体育祭において全校生徒で披露されるリズムダンスと縦割り班(異学年集団)で工夫を凝らして創作されたリズムダンスの中から、ダンスリーダーを中心にした選曲を組み合わせるダンスフェスティバル仕様のリズムダンスが決められる。「元気はつらつ」「はじける」「ユニークさもプラス」された「狩俣中らしい」リズムダンスが会場を沸かせるのだ。

夏休みから自主的に取り組み、各班ごとにアイデアを出し合って先輩から後輩へと「リズムダンスの楽しさ」が受け継がれている。何より「中学生らしく」純粋で、踊る楽しさが伝わる狩俣中のダンスの次なるステージは12月13日(日)浦添市でだこホールで行われる「第21回沖縄県中学校総合文化祭」ヤングパフォーマンス部門への出場だ。地区代表として1年生7名、2年生5名、3年生3名の「ダンスイングヒーロー」(チーム名)は、これからはじめ続けます！



福嶺中学校 ^{ふうか}仲地楓華さん(3年)「県中学校陸上競技大会で2冠達成！」

沖縄市泡瀬の県総合運動公園陸上競技場において、10月17日に第57回沖縄県中学校陸上競技大会(主催:県中学校体育連盟)が行われ、そのなかで、福嶺中学校3年の仲地楓華さんが、共通女子800[㍎]、同1500[㍎]で優勝し2冠を達成し、その報告に教育長室を訪れました。

今回2冠の受賞を果たした仲地さんは、「地区大会では目標タイムが切れずに悔しい思いをした。キャプテンという責任のなかで、みんなをまとめながら目標に掲げた2冠達成と宮古新記録を目指して頑張った。宮古新は果たせなかったが、2冠出来たのは嬉しかった。チーム一丸となって中学校最後の大会で悔いの無い走りが出来たと思います。」と語っていました。

同席した福嶺中学校饒平名和枝校長も、「次回は全国都道府県女子駅伝大会の選考会に出る事になっており、より大きな大会で活躍出来る事を期待している。」と話し、報告を受けた宮國博教育長も、「新聞で結果を知った時はとても感激した。これからの活躍も期待しています。」と伝えました。



平良第一小学校児童 ^{はるの}宮古島南星クラブ所属 宮国悠乃さん(5年)「沖縄県卓球大会優勝報告」

去った9月5日(土)・6日(日)に、うるま市石川体育館で行われた全日本卓球選手権カデットの部(中学2年生以下)沖縄県予選大会において、宮古島南星TC(代表:与那覇健一氏)に所属している平良第一小学校5年の宮国悠乃さんが女子シングルの部で優勝、女子ダブルスの部で第3位となり、その報告に市教育委員会教育長室を訪れました。

女子シングルの部優勝にあたり、11月21日(日)~23日(月)に高知県で行われる全日本卓球選手権大会本戦に出場することになった宮国さんは「卓球は小学1年の頃に始めて、大会には2年生から出場しており、今回の優勝は本当に嬉しい。11月の本戦では良い成績が残せるよう頑張ります。」と意気込みを語りました。報告を受けた宮國博教育長は「高知県での大会では、沢山のメダルを取って帰ってきてください。宮古で応援しています。」とエールを送りました。



連載

文化財を巡る

No.17



宮古上布の創生者「稲石」

宮古圏域には、国の重要無形文化財に指定されている「宮古上布」の工芸技術があります。宮古上布と言え、一反の布が数百万円もする高級な織物として知られていますが、宮古上布の文化財としての価値はその布を織り出す技術にあることを知っていますか。

船の舵を取る「ろくとう綱」が切れ、あわや沈没かと思われたとき、真栄が荒れ狂う海に飛び込んで綱を結び直した。船は無事に帰国することができました。その功績を称え、王府の尚永王はお褒めの言葉と下地親雲上の位を真栄に与えました。

す。

稲石は、迎立氏・上地の与人の娘として生まれ、真栄の妻となりましたが、夫のこの出世に感激し、三年間の苦心研究の末に「綾錆布」を作り上げ、一五八三年に尚永王に献上しました。「綾錆布」は別名「太平布」とも呼ばれ、宮古上布の始まりとされています。

この二人を祀った「真屋御嶽」が下地字洲鎌に所在しています。また、稲石は宮古産業界の恩人として平良字西里に所在する「産業界の恩人記念碑」にその名を残しています。

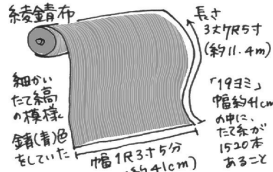
宮古上布の製作は分業制となっていて、それぞれの技術者がその技を守り伝えてきました。そして、宮古上布の材料となる糸は「芋麻ちよま」という植物が原料となっていて、この芋麻を伝統的に栽培して糸にしているのは日本国内でも宮古圏域だけです。その糸を作る技術もまた「芋麻系手績み」として宮古上布の保存を支える国選定の保存技術になっています。

今回は、この「宮古上布」の創生者である稲石と、夫の下地親雲上真栄をご紹介します。

真栄は、洲鎌村の役人・与人ゆんちんとして琉球王府へ向かう途中、逆風にあって明国に漂着してしまいます。たまたま明国に来ていた王府の進貢船に乗せてもらいますが、またもや逆風にあいま

綾錆布と宮古上布

■綾錆布（太平布）とは
芋麻の糸を青く染めた、細い経織の織物だったと言われている。



■上布とは
芋麻を原料にした上質な糸で平織りにした織物。非常に薄くて軽く、夏の最高級呉服生地として扱われる。越後上布、能登上布、近江上布、宮古上布、八重山上布などがある。

■重要無形文化財「宮古上布」の
工芸技術指定の要件

- ・全て芋麻を手で績んだ糸を使用
- ・縦模様をつける場合は伝統的な手ゆい又は手くくりによること
- ・純正の植物染料で糸を染める
- ・手で織る
- ・仕上げ加工の場合は木槌で手打ちし、天然材料の糊を使用する



つまり、上の要件がそろわなければ「宮古上布」とは呼べない。

芋麻(カウ)

「からみ」とも呼ばれる。イモ科の多年草。宮古島では年に複数回収穫できる。



- 手績み 木槌を叩きながら、細い糸を手でくくり、つなげていくこと
- 手くくり 染め糸が染まらないように、木槌を叩くこと
- 手ゆい 一定に染め分けた糸をずらしながら、糸を紡ぐこと
- 平糸織り たて糸とよこ糸が一本ずつ交差する最も基本的な織りのこと。

縦模様：織る前にあらかじめ文様にしたがって染め分けた糸を使って織ってきた柄

資料提供/宮古上布保持団体 イラスト/山田光

おいせ 平成28年成人式の日程について おいせ

宮古島市では、晴れて成人の仲間入りをする若者たちが、社会人として自覚と責任をもって活躍することを期待し、その門出を祝福激励するため下記のとおり「平成28年宮古島市成人式」を実施致します。

対象:平成7年(1995年)4月2日から平成8年(1996年)4月1日に生まれた方。

○就学や就職等で市外に居住されている本市出身の方。

○宮古島市に住民登録されている方。

※ご案内の通知はいたしません。

日時:平成28年1月5日(火)

開場13:30/式典14:00

会場:会場は地区別となります。

(右表参照)



地区名	会場	お問合せ先
平良地区	マティダ市民劇場(文化ホール)	生涯学習振興課(77-4946)
城辺地区	城辺公民館(改善センター)	城辺支所(77-4905)
下地地区	下地農村環境改善センター	下地支所(76-6001)
上野地区	上野公民館(改善センター)	上野支所(76-6821)
伊良部地区	伊良部公民館	伊良部支所 市民課(78-6251)

TOPICS

平成27年度 第4回子ども博物館 講座「石蒸し調理」

市総合博物館では、10月25日(日)に第4回子ども博物館講座「石蒸し調理」を白川浜(高野漁港横)にて実施しました。

石蒸し料理は、先史時代無土器期(2900年～1300年前)に行われていた調理法です。子ども達からは、「実際に自分でやってみて、昔の人がどんなに苦労したのかが分かった。」「最初は 어떻게 料理をするのか疑問だったが、石などを使って料理をするということが分かり、お肉やイモをおいしく食べる事が出来た。」などの感想が述べられていました。



- 石蒸し調理の方法**
- ①砂浜に穴を掘り、その中でたき火をする。
 - ②たき火に、こぶし大の石を十数個入れ、加熱する。
 - ③火が消えたら、焼けた石の上にバナナの葉で包んだ食材(イモ、肉、魚)を乗せ、バナナの葉で全体を覆う。
 - ④バナナの葉に砂をかぶせ、1～2時間ほど蒸し焼きにしたら出来上がり
※穴の中の温度は常に80℃～100℃に温度を保ちます。

特別展示「平成25・26年度新収藏品展」

市総合博物館では10月30日(金)から12月1日(火)までの期間、特別展示「平成25・26年度新収藏品展」を開催しました。

本特別展示は、平成25・26年度に新しく当館に寄贈・寄託された資料498点を、歴史・民俗・美術工芸・自然・視聴覚資料の5つのテーマに分けて展示・公開しました。

展示資料には、一昔前まで実際に使用されていた民具や農具などのほか、学校関係の資料として学生帽や通知表など、懐かしい資料が多く展示されていました。



平成27年度後期(第15期)研究教員入所式

10月1日に平成27年度後期(第15期)研究教員入所式が行われました。

研究教員は学校における課題や授業における課題をもとに自らテーマを決め、教師としての指導力及び人間力を高めていくこと等を目的に研究を行います。

今年度は市内の小中学校から2人の先生が選ばれ、6ヶ月にわたり研究活動を行うことになりました。



第15期研究教員 下里 道代 教諭(佐良浜小学校)

研究主題を「他者と共により良い生き方を目指す児童の育成」とし、平成30年度から教科化となる「特別の教科 道徳」における授業づくりについて実践的に取り組んでいきます。特に主体的・協働的な学びとなる問題解決的な学習の指導方法や発問・発問構成の工夫に焦点をあて、研究を深めていきたいと考えています。

子ども達が、より良い生き方を目指す道徳性が育まれる研究となるよう、しっかり取り組んでいきます。

第15期研究教員 平良 覚 教諭(池間小中学校)

研究主題を「科学的な思考力・判断力・表現力の育成を図る理科学習指導」とし、アクティブラーニングの考え方を生かした学習指導を研究していきたいと考えています。

研修の成果が現場の先生方に共有してもらい、生徒達に還元出来るように励んでいきたいと思ひます。



みんなで楽しく体力チェック!! 平成27年度体育の日関連イベントを開催

去った10月12日(日)、市総合体育館において体育の日関連イベント「Do体力づくりーあなたの体力いくつですか?ー」(主催:市民スポーツ課)が開催されました。

市民ひとりひとりに、現在の自身の体力を確認するとともに、健康保持増進や体力向上に繋げてもらうことを目的に行われた本イベントには、子どもから大人までの幅広い年代層の市民が参加し、体力テストでさわやかな汗を流しました。



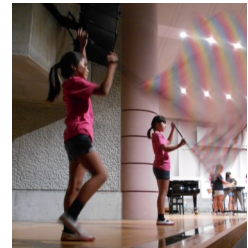
第10回宮古島市民総合文化祭「児童生徒の部」

全12団体が練習の成果を披露！「音楽祭」

去る11月1日(日)、マティダ市民劇場において、第10回宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」音楽祭が開催されました。

みやこ少年少女合唱団による元気いっぱいの市歌によって幕を開けた今回は、小学生から中学生まで全12団体が参加し、それぞれ練習した成果を堂々と披露しました。

普段、聴く機会の少ないクラシック曲から、昔歌ったおなじみの定番曲、人気アニメ映画の主題歌を吹奏楽にアレンジした曲など幅広い選曲で観客を魅了し、会場は音楽を通し一体となって盛り上がっていました。



放送大学からのお知らせ 4月入学の学生を募集します！

放送大学では、平成28年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学ではテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べ、15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

詳細は生涯学習振興課(77-4946)、または放送大学沖縄学習センター(098-895-5952)まで。



平成27年度教育委員会 定例会の開催状況

第6回教育委員会定例会(9月25日)、第7回定例会(10月22日)が城辺庁舎で開催されました。

第6回定例会では、文化ホール条例施行規則の一部を改正する規則、文化ホール運営委員会委員の委嘱について、提案・審議され、全会一致で可決となりました。文化ホールの運営基本計画等を協議する文化ホール運営委員会委員については、合唱連盟関係者、随筆家、琉球舞踊家など8名の委員が承認されました。

第7回定例会では、市立学校職員の自家用車の公務使用に関する要綱の一部を改正する訓令が提案され、自家用車使用に関する条件や様式の改正が行われました。また、伊良部地区小中一貫校・結の橋学園教育課程基本構想について、結の橋学園が目指す子ども像、学校像、教師像などが説明されました。

12月 1月 行事予定

- 宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」表彰式
12月12日(土)/中央公民館大ホール
- 第5回子ども博物館「野草の観察会と野草料理」
12月13日(日)/総合博物館
- 平成28年宮古島市成人式
1月5日(火)/会場は地区別となります
- おはなしたまはばこ・おはなし会
平良図書館/毎週土曜日
城辺図書館/12月は第3日曜日、1月は第2日曜日

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

市総合体育館

H27.11.25 現在



- 12/5(土)~6(日) 第37回団体戦職域バドミントン大会
- 12/20(日) 共和産業 壮年バレーボール大会
- 1/9(土) 第35回中体連 卓球
- 1/10(日) 第38回ライカム杯混合ダブルスバドミントン大会
- 1/16(土)・17(日) 第35回中体連 開会式 バasketボール
- 1/24(日) 第33回池村杯 卓球大会
- 1/31(日) 第6回宮古TV杯第28回学生ダブルスバドミントン大会

陸上競技場

- 12/11(金) 宮古高校ロードレース
- 12/13(日) 第8回全宮古女子・第65回全宮古駅伝競走大会
- 12/20(日) 第42回全宮古職域駅伝大会
- 1/9(土) 第44回野球部競技会(宮古地区)
- 1/16(土)・17(日) 第35回中体連 サッカー競技
- 1/22(金)・23(土) 第34回全宮古小学校 駅伝大会

※ 施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。
市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜・祝祭日休み)

子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育研究所では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎76-2740

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月~金曜日(祝祭日除く)午前8時30分~午後4時30分

【所在地】下地字上地472-39 下地庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)